

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 4年 4月 1日

事業所名 シルピانسポレク療育館おなが

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1			
	2	職員の配置数は適切である	5				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	3			トイレなど一部段差が有るので、スノコなどで調整出来るよう検討します。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2			職員全員がPDCAサイクルが理解出来るよう勉強会を行います。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		1	4		今年度、在宅支援を活用していたので、保護者向けアンケートが未実施でした。次年度は両方実施出来るようにします。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	3			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		2	3		第三者による外部評価制度を導入出来るか、本社と検討します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	2			
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	2	3			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		5			適応行動に特化したアセスメントが行えるよう改善します。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	3			支援計画の情報が共有出来るようパート職員も含めた担当者会議にします。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2	3			コロナ対策を適切に行いながら季節に合った行事、地域との交流が図る事が出来るプログラムを考えます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	2	1		コロナ対策をきちんと行い、プールや海水浴や各種スポーツ大会など行えるよう努力します。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	2			パート職員も含めて、その日行われる支援の内容を確認するよう努めます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2			パート職員も含めて、その日行われた支援の内容の振り返りが出来る体制に努めます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	2	3			記録を取るだけでなく、検証、改善に繋げられるよう努力します。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5					
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている		3	2		ガイドラインを理解し、複数組めるよう改善が必要です。まずは、理解から取り組みます。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1			管理者が会議の中心になっていますが、担当者も会議に参加出来るようにします。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	2	3		送迎時に常に確認を行う様徹底している。	急な時間の変更にも対応出来るよう、学校、保護者様と密なコミュニケーションが図られるよう努力します。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	3			協力医との連携、利用者様の主治医との連携が出来るよう面談の機会を作ります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	2	1		どうすれば就学前に利用していた事業所と関係が作れ、情報共有出来るか職員間で話し合います。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5				必要に応じて、今後も連携事業所と情報共有して参ります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	1		コロナで研修が無くなっていますが、専門研修が再開されたら以前のように受講を予定をしています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	3	1		コロナで交流が途絶えてますが、対策をきちんと行い交流を再開したいです。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	3			参加した内容を職員間で共有出来るよう工夫します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	1			今後も、状況や課題を共有し、支援が継続出来るよう努めます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	2	1		職員一人一人がペアレント・トレーニングを理解出来るよう勉強会など実施したいと思っています。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	1	1		通常管理者で行っている業務ですが、職員も理解把握出来るよう勉強会などを実施します。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	2			今後も、相談支援事業所とも連携して、拡充に努めます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3	2		保護者同士の交流会は、中々実施出来ていません。次年度実施出来るよう計画します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している		3	2		コロナで利用を控えている利用者様にも、在宅支援を通じて報告出来るようにします。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	3			オリジナルの通信を活用していますが、より充実した内容をお届け出来るよう工夫します。
	35	個人情報に十分注意している	5				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	2			今後も、相談支援事業所と連携して、配慮出来るよう努めます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2	2		コロナで招待出来ない状況ですが、落ち着いたら地域との交流を行いたいです。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	3	1		周知徹底出来るよう定期的に訓練します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	4			避難訓練の実施だけでなく、災害訓練も取り入れます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	2			毎年、虐待に関する勉強会を行っています。今後も継続します。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	1	2		運営規程や重要事項説明に記載されています。契約時に説明していますが、知らない職員もいるので、周知出来るよう努めます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2			アセスメント時に、保護者確認を行っています。主治医とも連携出来るよう強化します。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	3			ヒヤリハットを定期的に行っています。今後も継続出来るよう努めます。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公

公表:令和 4年 4月 1日

事業所名 シルビアンスポレク療育館おなが 保護者等数(児童数) 14 回収数 14 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	5			
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	9	5		専門性って何？	役割や専門性について保護者に伝える。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	6			トイレなど一部段差があります。スノコなど工夫しています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	11	3			
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	11	3			季節の行事や、施設の行事など工夫しています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	4	9		コロナで交流機会が減っています。落ち着いてきたら再開します。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	2			
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13	1			
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	5		コロナ感染が拡大している為難しいと思う。	コロナが落ち着いたら面談など実施します。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	4	9	コロナ感染が拡大している為難しいと思う。	コロナが落ち着いたら、保護者会等話し合う機会を設けたいです。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	3			
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	1			
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	4	8	2		LINEなどのツールを活用して情報共有を工夫します。
14 個人情報に十分注意しているか	14					
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	6	7	1		コロナが落ち着いたら、各種マニュアルの説明を行う機会を設けます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	11			避難訓練だけでなく、災害に対しても備えられるよう対策します。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	12	2			
	18 事業所の支援に満足しているか	12	2			

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。